

# 株式会社チャイルドタイム

## 多摩センターエンゼルホーム

Q

A

保育に関する私たちの考え方と取り組み、  
子どもたちの生活風景、行事や食事などをご紹介します。



## はじめに

保護者の皆さま、ならびに地域の皆さまにおかれましては、日頃より多摩センターエンゼルホームの運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、多摩センターエンゼルホームは2022年度に福祉サービス第三者評価を受審いたしました。お寄せいただいた利用者調査の声を受け、多くの気づきも頂戴しました。

そこで、さらなる保育サービスの質の向上に向け、私たちが実践する「保育」の考え方について積極的にお伝えし、より理解を深めていただけるよう、評価結果報告書（カテゴリー6）を読みやすく再編集した「Q&A版・評価結果報告書」を作成いたしました。

この報告書は、「生活リズム・生活習慣」「行事」「食事・食育」等の視点に沿って、福祉サービス第三者評価で確認された内容を写真（エビデンス）付きで掲載しております。

ぜひ、ご覧いただきますとともに、今後とも、子どもの成長を共に見守る関係づくりに向けより一層のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2023年3月31日  
株式会社チャイルドタイム 多摩センターエンゼルホーム  
園長 宮澤 美恵





1 子どもの受け入れ	①保育室の生活環境 ②価値観を広げる取り組み ③配慮を要する子どもの受け入れ ④子ども同士のトラブル
2 生活習慣	①園生活の連絡・報告 ②生活習慣を身につけるための教育 ③生活リズム・午睡
3 活動内容	①室内での遊び・学び ②戸外での遊び・学び
4 特別活動	①行事内容 ②保護者の行事参加
5 長時間保育	①長時間に対応する環境づくり
6 食事	①献立と食事環境 ②アレルギー対応 ③食育活動
7 健康管理	①安全教育 ②SIDS 及び感染症への予防策
8 保護者支援	①関係づくり ②情報提供・相互理解
9 地域交流	①地域や多様な人々とのふれあい

※紹介する項目は東京都福祉サービス第三者評価「サービスの実施項目（カテゴリー6-4）」に準じています。

## 1 子どもの受け入れ



### ① 保育室内の生活環境

Q：子どもが生活する園内はどのような環境ですか？

A：入園時の面談や送迎時の会話、連絡帳などから一人ひとりの園児の発達や生活状況などについて把握し、日誌や児童票に記録しています。また、全職員が園児の状況を把握し、それぞれの状況に応じた丁寧な関わりが出来るように努めています。

室内の環境としては、全クラスでモンテッソーリ教育を取り入れていることから、園児の発達や状況に合わせて教具を準備しており、教具棚に整理して設置しています。

このような環境で、園児たちは好きな教具を自発的に選んで遊んでいます。



## 1 子どもの受け入れ

### ② 価値観を広げる取り組み



Q：子ども同士の交流をどのように育てていますか？

A：個々のペースに寄り添う支援と年齢に合わせた環境を整えつつ、日常の中で、または散歩や行事を通じて、自然と異年齢の子どもと関わる機会を設けています。

クリスマスやひな祭りに際して、1・2歳児が合同で食事をする機会も設けています。そのような関わりの中で、小さい子に対するいたわりの気持ちや、大きい子への尊敬の心が育つように援助しています。加えて、連携園の幼稚園児と交流する機会もあります。



Q：外国文化や国内各地の文化にふれる機会を設けていますか？

A：異文化にふれる機会として、給食の献立を工夫し、外国の料理を取り入れています。



## 1 子どもの受け入れ



### ③ 配慮を要する子どもの受け入れ

Q：配慮を要する子どもの受け入れはしていますか？

A：特別な配慮が必要となる子どもを受け入れた際は、主にフリーの職員が対応するとともに、落ち着ける場所を確保するなど環境を整えています。また、発達支援センターなどの専門機関と連携するほか、心理士の助言を受けながら適切な対応を心がけています。

### ④ 子ども同士のトラブル

Q：子ども同士のトラブルに対してどのように対応していますか？

A：子ども同士のトラブルが発生した際はヒヤリハット報告書を作成し、クラス会議において再発防止策を検討しています。噛みつきなどを未然に防ぐために、会議などで園児の状況を共有し、個々に寄り沿うなど配慮しています。



## 2 生活習慣

### ① 園生活の連絡・報告



Q：子どもの様子についてどのように把握していますか？

A：登園時には視診とともに連絡帳の確認と、保護者との会話で前日からの家庭での様子や体調などについて聞き取りをしています。  
夕保育担当職員には保育日誌や登降園表を活用して引継ぎ、担任以外の職員でも確実に保護者に1日の様子を伝えられるようにしています。

Q：日々の子どもの様子を保護者とどのように共有していますか？

A：降園時にも、園児一人ひとりの園での様子を連絡帳で報告しています。  
また、クラスの活動内容をICTアプリで報告するほか、月1回生活写真を共有サイトにアップロードし、更新した際はICTアプリで知らせ、活動の様子を伝えています。



## 2 生活習慣

### ② 生活習慣を身につけるための教育



Q：生活習慣を身につけるためにどのような教育を行っていますか？

A：基本的な生活習慣については、送迎時の会話や個人面談などを通してその大切さを保護者へ伝え、家庭と連携して身に付くように一人ひとりに合わせて援助しています。

排泄については、個々の間隔を把握してトイレに促し、成功したら褒め、次への意欲に繋げています。着脱については午睡時の着替えを通して練習しています。食具についても教材として準備し、個々の様子に合わせて順次移行しています。箸は、2歳児クラスの子どもの成長に合わせて個別に使用を進めています。現在は休止していますが、歯ブラシは1歳児から使用し習慣づけています。





## 2 生活習慣

### ③ 生活リズム・午睡



Q：午睡の実施方法を教えてください。

A：午睡時間はおおむね 12 時～14 時 30 分で設定しています。  
その際、布団とタオルケット（冬場は毛布）を寝具として使用しています。

Q：午睡に関して配慮している内容について教えてください。

A：連絡帳や保護者との会話で把握した園児の健康状態、家庭での生活リズムを考慮し、一人ひとりの園児の状況に合わせて入眠時間や長さを調整しています。月齢などによっては午前睡もしています。  
なお、午睡時間に眠れない子がいた場合は、テーブルのコーナーなどで過ごせるようにしています。



### 3 遊び・学び

#### ① 室内での遊び・学び



Q：全体の活動や主体性を育むためにどのような活動を行っていますか？

A：子どもが主体的に活動できるように、「自分でできる、できたを大切に」をテーマとした環境を整備し、絵本・おままごと・ブロックなどのコーナーを設けています。また、興味や関心に合わせた無理のない遊びや活動を提供し、園児自ら遊びたい遊びや玩具を選んで遊べるように環境を整えています。

さらに、モンテッソーリ教育を基本とした教具を準備し、定期的に見直しを行いながら、発達段階に沿った活動が出来るように配慮しています。鏡台を置いて身だしなみを整えることができるようにもしています。



Q：表現力を広げるためにどのようなプログラムを取り入れていますか？

A：日常の保育の中で月齢に合わせた保育士からの言葉がけや手遊び、絵本などの読み聞かせの中で発語を促し、言葉のやり取りを楽しめるように援助しています。その際、言葉に対する興味を観察し、物の名称、動作の名称など正しい日本語を伝えています。

また、集まりで発表する機会を設定し、人前で話すことに慣れるようにしています。特徴的な遊びとしては、わらべ歌や昔ながらの伝承遊びを取り入れたり、リズム遊びを楽しんだりしています。

### 3 遊び・学び

#### ② 戸外での遊び・学び



Q：戸外ではどのような遊びをしていますか？

A：本園は都のニュータウン構想により開発が進められた大型団地内にある保育園です。

敷地内に園庭はありませんが、広いテラスがあり、気候の良い季節には外出しなくても外気にふれることができます。また、1日2回散歩に出て、公園でボール遊びやかっこなどを行っています。

Q：園生活ではどのような動植物にふれることができますか？

A：団地内は自然環境が充実しており、落ち葉・どんぐり拾いを楽しんだり、芝刈りで放牧されているヤギや池に住むカモなどを観察することもできます。

さらに、蚕を飼育しており、エサとなる桑の採集もしています。そのほか、散歩に際して交通ルールを意識的に指導しています。





## 4 特別活動

### ① 行事内容



Q：子どもが体験できる行事について教えてください。

A：行事はまず、子どもが楽しめるように心がけています。親子参加の行事として「入園式・親子遠足・運動会・クリスマス会・成長を祝う会」を催し、親子のふれあいを育む機会としています。  
また、「七夕のつどい・お月見会・収穫祭・クリスマスの日・節分・ひな祭りのつどい」など、季節にちなんだ行事も楽しんでいます。

Q：誕生日会ではどのようにお祝いしていますか？



A：そのほか、子どもの誕生日会をクラスごとに実施し、歌や写真・手形・メッセージを添えた誕生日カードなどを送ってお祝いしています。  
また、誕生日児が主役になれるよう、2歳児クラスでは誕生日の当日にワッペンを付けて過ごしています。



## 4 特別活動

### ② 保護者の行事参加



Q：園内行事についてと、行事での子ども様子はどのように知らせてくれますか？

A：行事の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るために、年間行事予定表を4月の「入園・進級式」で配布しています。また、行事ごとの目的を行事の案内で伝えています。

保護者が参加・見学できる行事として、「運動会・ふれあい会・成長」を祝う会を開催するとともに、保護者が参加しない活動についても写真などによりその様子を伝えています。なお、保護者が参加する行事については、アンケートを実施して保護者の気づきや満足度の把握に努め、次開催につなげています。



## 5 長時間保育



### ① 長時間に対応する環境づくり

Q：長時間にわたる保育でも子ども達が安定して過ごせるよう配慮していますか？

A：保育室は年齢ごとに分かれており、家庭的な雰囲気の中で安心できる環境を作っています。その中で、モンテッソーリ教育を基本にそれぞれの遊びに集中できるようにしています。

また、子どもが落ち着いて過ごせるよう、園内に草花や小物飾りを配置しています。それにより、子どもが興味を持つ対象が増え、飽きずに生活できるようにしています。そしてその一つ一つが大切なものと感じられるよう促し、子どもたちも丁寧に接しています。その結果、突発的な行動を抑止できるようになり、怪我の防止にもつながっています。

Q：延長保育ではどのような配慮をしていますか？

A：本園では7時から20時を開所時間としています。18時から2歳児室での合同保育に移行し、パズルやお人形遊びなど静かな遊びをして過ごすとともに、補食は夕食まで持つ程度の量にしています。

ゆったりと過ごせるような環境を整え、普段と違う場所・雰囲気の中でもくつろげるようにしています。また職員間で必要事項を申し送りし、園児一人ひとりの状況に配慮しています。





## 6 食事・食育

### ① 献立と食事環境



Q：どのような環境で食事していますか？

A：給食の際は、テーブルに生け花や手作りのランチョンマットを用意し、子どもが楽しく食事を出来る環境を整えています。  
椅子やテーブル、食具は年齢や発達に合わせて使用し、正しい姿勢や持ち方で食べられるようにしています。コロナ禍においては、1テーブルに対し子ども3名までが座るようにしました。

Q：行事など食事を楽しむ工夫はありますか？

A：行事に際しては、型抜きを使用し飾りつけをしたり、ランチョンマットを変更をするなど、雰囲気盛り上げています。



## 6 食事・食育



Q：給食はどのような献立になっていますか？

A：献立は2週間サイクルで作成し、季節の食材をとり入れながら素材の味を活かすようにしています。

陶器の食器を用いて、盛り付けは個別に量を調整しながら提供しています。

また、栄養士や調理師が毎日保育室に赴いて喫食状況を確認し、調理方法を見直しています。

## ② アレルギー対応

Q：食物アレルギー児への対応はどのようにしていますか？

A：食物アレルギーのある子どもについては、アレルギー児対応マニュアルに沿って、園で食材を用意し代替食を用意しています。

環境面では、別のテーブルで提供するとともに、配膳時には色違いの食器やトレーを用いて、誤食の防止に努めています。



## 6 食事・食育

### ③ 食育活動



Q：食育活動では具体的にどのような取り組みを行っていますか？

A：食育年間計画を年齢ごとに設け、お腹を空かせて楽しく食事し、完食を目指すことなどを目標に掲げています。正しい食具の使い方や食のマナーなどについて学んだり、2歳児クラスからラップおにぎりなどの調理体験をしています。

くわえて、昼食やおやつをバイキング形式で提供するほか、お弁当作りも体験しています。

そのほか、給食の食材である野菜にふれたり、バナナの皮を剥いたりしています。小松菜・カブ・豆苗の栽培にも取り組みました。さらに、食を通じて行事（収穫祭や七草粥、節分など）の由来を伝えたり、外国の文化を伝えています。





## 7 健康管理

### ① 安全教育



Q：安全に関してどのような教育を行っていますか？

A：子どもが自身の安全について関心が持てるように、手洗いや着替えを援助したり、鼻の拭き方などを指導して清潔を保てるようにしています。併せて、散歩に際して交通マナーが身につくように指導しています。また、保護者と連携して子どもの健康維持に取り組むために、保健だよりを発行しています。



Q：園内の事故や怪我防止の対策はありますか？

A：看護師による手洗いやうがいなどの健康指導を行い、子どもが自らの身体や健康に関心が持てるような取り組みをしています。加えて、区の歯科衛生士が考案した6歳臼歯を守る「6ちゃん」に取り組んでいます。さらに、子どもの自身の安全に対する意識を高めるために、園内の危険個所を確認する機会を持ち、事故や怪我の防止につなげています。

## 7 健康管理

### ② SIDS 及び感染症への予防策



Q：健康管理や SIDS 対策にどのように取り組んでいますか？

A：乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防に向けて、0 歳児は 5 分毎、1・2 歳児は 10 分毎に午睡チェックを実施しています。  
感染症の流行や SIDS の発生を予防するために、職員は感染症の防止や緊急対応のシミュレーションに参加して理解を深めています。



## 7 健康管理



Q：感染症や季節の病気などに関する情報はどのように提供していますか？

A：保護者へは、園児の病気や感染症への対処・対応ついて入園時に説明しています。

併せて、空気清浄機を設置するとともに、子どもが直接ふれる範囲や玩具はもとより、壁・天井・カーテンも消毒しています。

感染症が発症した際は、発生状況を ICT アプリで情報を共有して注意喚起しています。



## 8 保護者支援

### ① 関係づくり



Q：保護者同士の交流や職員との信頼関係をどのように構築していますか？

A：「保護者交流会」を開催するとともに、職員一人ひとりを知ってもらうために「職員紹介チラシ」を作成しています。また、保育参観を年1回、窓の外から子どもの様子を見て、園生活の様子を知ってもらえるようにしています。

降園時には連絡帳の活用のほか、保護者一人ひとりと必ず言葉を交わし、常にコミュニケーションをとることで園での園児の様子を詳細に伝え、安心して預けてもらえるように配慮しています。



Q：保育に対する共通理解を得るためどのような点に配慮していますか？

A：年2回の個人面談（コロナ禍では希望者にオンラインで対応）を実施しています。あわせて、運営委員会を年2回開催し、園運営や行事の内容について意見を聞いています。

なお、各会の開催に際して、状況に合わせてオンラインに切り替えするなど工夫しています。



## 8 保護者支援

### ② 情報提供・相互理解



Q：保護者の状況や意向はどのように把握していますか？

A：保護者の就労など、個々の事情については入園時に聞き取り、基本的な保育時間を決めています。急な残業などによる時間変更には柔軟に対応するなど、保護者の立場に立って支援しています。

Q：子育ての考え方について互いの理解を深める取り組みはありますか？

A：育児相談会開催を行い、「いやいや期」などのテーマで意見を交換しています。モンテッソーリ教育を取り入れた子育ての方法も伝えています。



## 9 地域交流

### ① 地域や多様な人々とのふれあい



Q：地域環境を活かした活動はありますか？

A：散歩では近隣の公園で遊んだり、出会った人とあいさつをかわし、交流を図っています。また、夏祭りや育児講座、モンテッソーリ体験会には地域の人にも参加を呼びかけており、その参加者と園児が触れ合う機会も得ています。

さらに、一部コロナ禍で計画通りの実施が出来ていない場合がありますが、高齢者施設と交流したり、小学校の体育館を借りて運動会をしたりするなど、地域資源の活用も進めています。

ボランティアを受け入れた際は、各クラスで遊びに参加してもらっています。そのほか、連携園（幼稚園）を訪れて交流する機会もあります。







<発行> 株式会社チャイルドタイム 多摩センターエンゼルホーム